

地域交流委員会事業計画

地域交流委員会 委員長 宮城 幸明

青年会議所の使命は『より良い変化をもたらすための発展と成長の機会の提供』にあり、その使命を胸に、我々はこの街の課題を解決していく組織として地域を牽引する人材に成長し続けなければなりません。時代・社会的背景による様々な価値観や多様性を受け入れなければ、複雑化している地域の課題は解決できないと感じています。そのため、我々が成長し、課題を解決していくためには自らの価値観だけに縛られないよう地域社会や他 LOM・他団体との協働・交流が不可欠であり、その機会を通じて学びを得る必要があります。

まず、2月に行われる鳥取ブロック協議会会長公式訪問例会では、規律ある運営を行い、ブロック協議会の今年度の活動方針の理解と、他 LOM との貴重な交流の機会とします。そして、今年度第 45 回の節目を迎える桜ずもうの開催にあたり、昨年の設定方法を踏襲しコロナ禍でも開催できる様、参加する子どもたちが安全で安心できる大会とします。また、今後 50 回、60 回と持続可能で愛される大会とするべく、参加者を多く募れる様、告知又は選手募集の方法を強化しながらも、多くの観覧者に来て頂ける設定・運営を行い、琴櫻の顕彰と青少年健全育成の目的を果たします。さらに、6 月には桜ずもうの事業検証を行い、来年度以降の桜ずもうが、より持続可能で愛される大会となるよう次代に残していきます。そして、10 月にはロマンチック街道 313 事業を行い、今後の協力体制をより強固なものとするため、他 LOM との協働・交流を図る事業を構築します。また、12 月には卒会者を送り出すため、想いや絆を表現した例会運営を行います。

自らにはなかった新しい価値観や考えを学び得ることで、会員個々の成長へと結びつき、地域を牽引する人材へと変わっていきます。さらには、協働・交流をきっかけに人との繋がりを強めることで、県内外の LOM や団体との持続的かつ確実な情報交換や事業を構築する際に経験や知恵をお借りすることが容易となります。その結果、さらなる事業レベルの向上が期待でき、課題を解決していく組織としても成長が望めます。

<事業計画>

1. 桜ずもうの運営に関する事項
2. わんぱく相撲全国大会に関する事項
3. 会員個々の指導力開発に関する事項
4. 例会運営に関する事項
5. 会員拡大に関する事項
6. ロマンチック街道 313 に関する事項
7. ばえん祭に関する事項